



広域複合災害研究センターが厚真町と連携協定を締結

～大規模災害時の被害軽減に向けた取り組み強化、広域複合災害の減災に期待～

【概要】

地球規模の気候変動と地盤変動の活発化によって、近年、北海道でも土砂災害や洪水、豪雪による自然災害が急増しています。北海道大学広域複合災害研究センターは巨大地震や大規模噴火などが引き起こす広域複合災害の実態解明と被害軽減策、及び被災地の迅速な復旧復興、災害に強いレジリエントな街づくりに関する調査研究を行っています。平成 30 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震では厚真町を中心に大面積で斜面崩壊が発生し大きな被害が発生したほか、その影響は広域に及びました。この度、北海道大学広域複合災害研究センターと厚真町とが相互に連携し、こうした巨大地震等に起因する広域複合災害の防災・減災対策、復旧・復興に資する取り組みや、専門的知識を有する人材の育成などを推進することで、大規模災害時の被害軽減を目指し、連携協定を締結します。

【協定締結に至った経緯】

北海道大学広域複合災害研究センターは平成 31 年 4 月に北海道大学に設置されて以降、厚真町と防災・減災に関する意見交換を実施してきました。令和元年 10 月には防災シンポジウム＆現地見学会「平成 30 年北海道胆振東部地震を振り返り、今後の減災・復興を考える」を厚真町・広域複合災害研究センターで共同開催し、地域住民に対して災害実態及び防災に関する啓発活動を現地見学も交えて行いました。また、厚真町沿岸部は北海道最大の脅威の一つである千島海溝・日本海溝沿いで発生する巨大地震により津波の浸水被害も想定されています。令和 7 年カムチャツカ地震では津波警報が発令され、厚真町もその対応に迫られました。今後、厚真町及びその周辺地域における広域複合災害の被害軽減に資する研究活動や地域住民等への防災に関する啓発活動を円滑に実施していくため連携協定を締結し、大規模災害時の被害軽減、災害に強い街づくりに向けた取り組みを強化します。

【連携の内容】

- (1) 広域複合災害研究センターが実施する研究集会、講義及び研究プロジェクトへの厚真町の参画
- (2) 厚真町が実施する防災に係る施策・事業に対する広域複合災害研究センターの助言
- (3) 厚真町の災害対応に関する広域複合災害研究センターの助言
- (4) 防災・減災に関する人材育成や研究上の意見交換
- (5) 地元住民に対する防災啓発活動への相互協力

【協定の有効期限】

協定締結の日から 1 年間とし、有効期間満了の 1 か月前までに、双方いずれかから本協定の改廃等に関する申出がないときは同一の内容で 1 年間更新し、その後も同様とします。

締結式

日 時 令和 8 年 8 月 31 日（月）15 時 00 分～15 時 40 分（受付：14 時 45 分から）
場 所 厚真町総合福祉センター第二会議室（〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町 165 番地の 1）
出席者 佐々木貴信（北海道大学広域複合災害研究センター長）、宮坂尚市朗（厚真町長）

お問い合わせ先

北海道大学広域複合災害研究センター 副センター長 厚井高志（こういたかし）
T E L 011-706-3882 F A X 011-706-4695 メール koi@agr.hokudai.ac.jp
U R L <https://www.cnhr.info/>
厚真町総務課 情報防災担当参事 小山敏史（こやまとしふみ）
T E L 0145-27-2481 F A X 0145-27-2328 メール kanbou@town.atsuma.lg.jp
U R L <https://www.town.atsuma.lg.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）
T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp
厚真町総務課 情報防災グループ（〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町 120 番地）
T E L 0145-27-2481 F A X 0145-27-2328 メール kanbou@town.atsuma.lg.jp